

事項	小麦の赤かび病に対するテブコナゾール水和剤（シルバキュアフロアブル）及びチオファネートメチル水和剤（トップジンMゾル）の無人ヘリコプター散布による防除法																																												
ねらい	小麦の作付拡大が進むなかで、病虫害防除の場面では省力・効率的防除が求められている。そこで、近年、カビ毒問題が重要視されている赤かび病を対象に、省力・効率的防除として期待される無人ヘリコプター散布によるテブコナゾール水和剤（シルバキュアフロアブル）及びチオファネートメチル水和剤（トップジンMゾル）の防除効果を検討した。その結果、いずれも効果が認められ、これまで本防除法が県防除指針になかったので参考に供する。																																												
指導参考内容	<p>1 テブコナゾール水和剤及びチオファネートメチル水和剤の使用方法</p> <p>(1) 無人ヘリコプターにより、テブコナゾール水和剤の16倍液、あるいはチオファネートメチル水和剤の4倍液を、10a当たり0.8ℓ散布する。散布時期・回数は、開花始め～開花期に1回と、その7日後に1回の計2回散布を基本とする。ただし、散布後に曇雨天が続く場合には登録の範囲内で追加防除を行う。</p> <p>2 テブコナゾール水和剤及びチオファネートメチル水和剤の農薬登録内容</p> <p>(1) 薬剤名等</p> <table border="1" data-bbox="395 831 1374 1003"> <tr> <td>一般名</td> <td>テブコナゾール水和剤</td> <td>チオファネートメチル水和剤</td> </tr> <tr> <td>商品名</td> <td>シルバキュアフロアブル</td> <td>トップジンMゾル</td> </tr> <tr> <td>有効成分</td> <td>テブコナゾール 40.0%</td> <td>チオファネートメチル 40.0%</td> </tr> <tr> <td>人畜毒性</td> <td colspan="2">普通物</td> </tr> <tr> <td>魚毒性</td> <td>B類</td> <td>A類</td> </tr> </table> <p>(2) 使用基準</p> <table border="1" data-bbox="395 1070 1374 1518"> <tr> <td></td> <td>シルバキュアフロアブル</td> <td>トップジンMゾル</td> </tr> <tr> <td>登録年月</td> <td>平成17年10月</td> <td>平成7年7月</td> </tr> <tr> <td>適用病害</td> <td colspan="2">赤かび病</td> </tr> <tr> <td>希釈倍数</td> <td>16倍</td> <td>4倍</td> </tr> <tr> <td>散布液量</td> <td colspan="2">0.8ℓ/10a</td> </tr> <tr> <td>使用方法</td> <td colspan="2">無人ヘリコプターによる散布</td> </tr> <tr> <td>使用時期</td> <td>収穫14日前まで</td> <td>収穫21日前まで</td> </tr> <tr> <td>使用回数</td> <td>2回以内</td> <td>3回以内（但し、出穂期以降は1回以内）</td> </tr> <tr> <td>成分総使用回数</td> <td>テブコナゾールを含む農薬 2回以内</td> <td>チオファネートメチルを含む農薬 3回以内（但し、種子への処理は1回以内、出穂期以降は1回以内）</td> </tr> </table>			一般名	テブコナゾール水和剤	チオファネートメチル水和剤	商品名	シルバキュアフロアブル	トップジンMゾル	有効成分	テブコナゾール 40.0%	チオファネートメチル 40.0%	人畜毒性	普通物		魚毒性	B類	A類		シルバキュアフロアブル	トップジンMゾル	登録年月	平成17年10月	平成7年7月	適用病害	赤かび病		希釈倍数	16倍	4倍	散布液量	0.8ℓ/10a		使用方法	無人ヘリコプターによる散布		使用時期	収穫14日前まで	収穫21日前まで	使用回数	2回以内	3回以内（但し、出穂期以降は1回以内）	成分総使用回数	テブコナゾールを含む農薬 2回以内	チオファネートメチルを含む農薬 3回以内（但し、種子への処理は1回以内、出穂期以降は1回以内）
一般名	テブコナゾール水和剤	チオファネートメチル水和剤																																											
商品名	シルバキュアフロアブル	トップジンMゾル																																											
有効成分	テブコナゾール 40.0%	チオファネートメチル 40.0%																																											
人畜毒性	普通物																																												
魚毒性	B類	A類																																											
	シルバキュアフロアブル	トップジンMゾル																																											
登録年月	平成17年10月	平成7年7月																																											
適用病害	赤かび病																																												
希釈倍数	16倍	4倍																																											
散布液量	0.8ℓ/10a																																												
使用方法	無人ヘリコプターによる散布																																												
使用時期	収穫14日前まで	収穫21日前まで																																											
使用回数	2回以内	3回以内（但し、出穂期以降は1回以内）																																											
成分総使用回数	テブコナゾールを含む農薬 2回以内	チオファネートメチルを含む農薬 3回以内（但し、種子への処理は1回以内、出穂期以降は1回以内）																																											
期待される効果	小麦の赤かび病の被害が軽減され、安定生産に寄与する。																																												
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成19年3月1日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(http://www.maff.go.jp/nouyaku/)を確認すること。</p> <p>3 シルバキュアフロアブルは、あぶらな科野菜（特に、はくさい、だいこん）に対して薬害を生じる恐れがあるので、付近で栽培されている場合には特に注意する。</p> <p>4 使用上の留意事項を遵守する。</p>																																												
担当部署（担当者名）	青森県農林総合研究センター 病虫害防除室 （岩間俊太）	対象地域	県下全域																																										
発表文献等	平成18年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集																																												

【根拠となった主要な試験結果】

表1 小麦の赤かび病に対するシルバキュアフロアブル及びトップジンMゾルの無人ヘリコプター散布による防除効果 (平成18年 青森農林総研)

供試薬剤名	希釈倍数 ・散布量	散布日	7月24日調査			薬害
			発病穂率(%)	発病度	防除価	
シルバキュア フロアブル (無人ヘリ散布)	16倍 0.8ℓ/10a	6月2日	1.1	0.06	90.8	—
トップジンM ゾル (無人ヘリ散布)	4倍 0.8ℓ/10a	6月2日	1.1	0.06	90.8	—
シルバキュア フロアブル (地上散布)	2,000倍 150ℓ/10a	6月1日	0.7	0.03	95.4	—
無散布	—	—	9.7	0.65		

(注) 試験場所：青森農林総研境松北部圃場 品種：ネバリゴシ 播種日：平成17年9月27、28日
開花期：6月1日 収穫日：7月10日 発生状況：少発生

表2 小麦の赤かび病に対するシルバキュアフロアブルの無人ヘリコプター散布による防除効果 (平成15年 岩手農研セ)

供試薬剤名	希釈倍数 ・散布量	散布日	7月23日調査		薬害
			発病穂率(%)	防除価	
シルバキュア フロアブル (無人ヘリ散布)	16倍 0.8ℓ/10a	5月27日 6月3日	0.5	87.2	—
シルバキュア フロアブル (地上散布)	2,000倍 100ℓ/10a	5月27日 6月3日	0.5	87.2	—
無散布	—	—	3.9		

(注) 試験場所：北上市成田(農研センター圃場) 品種：ナンブコムギ 播種日：平成14年12月6日
開花期：5月27日 収穫日：7月1日 発生状況：少発生

表3 小麦の赤かび病に対するトップジンMゾルの無人ヘリコプター散布による防除効果 (平成16年 大分農技セ)

供試薬剤名	希釈倍数 ・散布量	散布日	5月21日調査			薬害
			発病穂率(%)	発病度	防除価	
トップジンM ゾル (無人ヘリ散布)	4倍 0.8ℓ/10a	4月26日 5月5日	9.6	0.84	77.3	—
無散布	—	—	28.4	3.70		

(注) 試験場所：宇佐市日足(農家圃場) 品種：農林61号 播種日：平成15年11月中旬
出穂期：4月18日 発生状況：中発生

(参考価格) シルバキュアフロアブル 3,300円前後/250mℓ、16倍散布で約660円/0.8ℓ/10a
トップジンMゾル 2,440円前後/500mℓ、4倍散布で約980円/0.8ℓ/10a